

宇宙科学ワーキンググループの設置について

平成18年10月26日
宇宙開発委員会計画部会

1. 設置の趣旨

我が国の宇宙科学研究は、研究者の自由な発想を源泉とした自主的な・普遍的な知的活動により、世界最先端の宇宙科学を推進し、人類の知的資産の拡大に貢献している。

現在、宇宙開発委員会の計画部会において、次期「宇宙開発に関する長期的な計画」の検討を行っているが、この長期的な計画の主要な政策課題の一つである宇宙科学研究に関しては、関係コミュニティ等の動向も踏まえた整理が必要である。このため、計画部会の下に「宇宙科学ワーキンググループ」を設け、幅広い分野の専門家の意見を聴取して専門的かつ集中的な審議を行うこととし、その審議の結果は、計画部会に報告し、更に同部会で審議を重ねた上、「宇宙開発に関する長期的な計画」の策定に反映させることとする。

2. 調査審議の内容

宇宙科学ワーキンググループにおいては、以下の項目について専門的・技術的な観点から調査審議を行う。

- 宇宙科学研究における今後10年程度における長期的展望
- プロジェクト研究推進の基本的方針
- 宇宙科学研究の推進体制
- 人材養成のあり方

3. 宇宙科学ワーキンググループの構成員

座長： 鶴田計画部会委員

委員： 計画部会構成員のうち部会長が指名する者及び新たに有識者として招へいされた者

なお、審議内容に応じて大学等から有識者を適宜招へいして意見聴取する。

4. その他

「宇宙開発委員会の運営等について」（平成13年1月10日宇宙開発委員会決定）を踏まえ、宇宙科学ワーキンググループにおける調査審議は原則として公開することとし、特段の事情がある場合には、非公開とすることができるものとする。

本ワーキンググループは、平成18年11月から平成19年1月までの間に4回程度開催する予定。

(別紙)

宇宙開発委員会計画部会宇宙科学ワーキンググループ 構成員

青江 茂 宇宙開発委員会委員
松尾弘毅 宇宙開発委員会委員長代理
野本陽代 宇宙開発委員会委員(非常勤)

(座長) 鶴田浩 郎 元宇宙科学研究所長
浅島 誠 国立大学法人東京大学総合文化研究科教授
北原和夫 国際基督教大学教養学部教授
河野 長 東京工業大学名誉教授
佐藤勝彦 国立大学法人東京大学大学院理学系研究科教授
戸塚洋二 独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター所長
中須賀真一 国立大学法人東京大学大学院工学系研究科教授
永原裕子 国立大学法人東京大学大学院理学系研究科教授
長谷川真理子 総合研究大学院大学葉山高等研究センター教授
観山正見 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台台長
本島 修 大学共同利用機関法人自然科学研究機構核融合科学研究所長